



SOEは第1回エコポリス板橋環境活動大賞の《環境教育部門 優秀賞》を受賞いたしました。

エコポリス板橋環境活動大賞表彰式及び環境シンポジウム

2月19日：板橋区立グリーンホール



坂本区長より表彰を受ける
SOE 寺田代表



「学び」を通して社会を変える！

～NPO法人センスオブアースが果たしたもの～

田中雅文氏

日本女子大学人間社会学部教授
SOE 理事

先月、NPO法人センスオブアース(以下 SOE)は「第1回エコポリス板橋環境活動大賞 環境教育部門 優秀賞」を受賞した。

SOEは2004年夏の発足以来、7年半にわたって5,000人以上の幼児・児童・生徒・学生・市民に対して環境教育の機会を提供してきた。ワークショップで学生を中心とするスタッフを鍛え上げるとともにプログラムを開発し、それに基づいて学校等に体験型の環境教育を「届ける」という出張方式は、SOEが編み出した大変ユニークなものである。SOEの活動は、次のような点で社会に大きく貢献している。

第1に、環境問題についてきわめて実践的な学習の場を提供している。それは、作る、考える、話し合う、発表するといった、さまざまな体験的な要素を組み合わせ、環境問題を総合的に学ぶことのできるプログラムである。体験を通して、子どもたちや若者・市民は実感をもって現代の環境問題を学ぶことができ、さらに自らの行動にもつなげる可能性が高まるのである。

第2に、学生を中心とするスタッフ自身が大きな学びを経験している。授業に先立つワークショップや授業場面そのもの、その後のふり返りという一連の活動は、出張授業の提供側であるスタッフの学びも促進する。いずれは教職やビジネス界で中核的な存在として活躍する彼／彼女たちは、こうした学びを土台に循環型社会の構築をリードする存在となってくれるだろう。

第3に、出張授業のほかにも精力的に行っているSOEの環境保全活動や73号まで毎月2,500部以上を発行し続けている情報発信・提言活動は、多くの人たちに啓発効果をもたらしている。これらの地道な活動は、それらに接した人々にとって「環境市民」への誘いとなっているのである。

以上のような側面から、SOEの活動は環境に関するさまざまな人たちの意識変容を促すとともに、循環



型社会の構築という社会変容のきっかけを与えてきた。しかし、本当の成果が出るのはこれからである。さらに活動を充実させるとともに、出張授業で学んだ子どもたち、活動をおして自らの学びを深めた若者たち、そしてSOEの活動に関わりをもったすべての市民によって、明日の日本や国際社会の生活様式と産業構造が大きく変わり、真に循環型社会が生まれたとき、SOEの存在はさらに大きな輝きをもつであろう。

今回の優秀賞受賞は、板橋区民、教職専門家、幼小中の子どもたち、学生・青年、研究者、行政とSOEが環境学習プログラムを実践する大きな協働の中で、循環型社会の構築への第一歩を切り開いてきた結果であると確信する。

受賞へのメッセージ

今回の受賞は、NPOと区民、学校教職員・子どもたち、学生・青年、大学、専門家、行政との幅広い協働によって7年間積み重ねられた実践があったからこそです。今の社会から求められる環境への取り組みに応え、次への大きな一歩を踏み出したいと思います。

*

中台中学校 校長 佐藤晴法先生

(板橋区環境教育プログラム部会副座長)

今年度も中台中学校1年生に「フードマイレージ」の授業をやっていただきました。寺田先生のメリハリのきいた授業に生徒もしっかりくい付いていました。今後とも、素晴らしい環境教育を展開して学校を助けてください。環境活動大賞優秀賞、おめでとうございます。



板橋第七小学校 校長 植松光一先生 (前全国理科研究協議会副会長)

板橋区 環境教育部門 優秀賞受賞おめでとうございます。センスオブアースの今までの地道な活動が認められたものとうれしく思います。これからも、学校だけでなく、広く板橋区民へ環境教育や環境保全の大切さを啓発し続けてください。期待しております。



板橋第二小学校 校長 長沼和人先生

(板橋区環境教育プログラム部会座長)

板二小は23年度から環境教育に取り組んでいます。今の子どもたちが生きる舞台である地球を大事にするために、小学生から環境への意識・そして実践力を育てたいと考えます。H24年度は子どもたちの力でビオトープを作ります。

SOE 杉山佑里子



私が大学2年生のとき、バイト先で寺田先生と出会い、先生が「学生を集めて環境教育をやらない?」と誘って下さったことから始まってもう6年。そのときは、このように社会に認知して頂けるとは夢にも思っていませんでした。じわじわ温かな喜びを感じます。本当に素朴な手作りの授業からはじまって、子どもが喜んでくれるのか始めは不安でしたが、逆に手作り(自らが大学の実験よりもハラハラしてヤゴをトンボまで育て感動したりなど)だからこそ、いちいち苦労を感じて、一歩一歩確認しているだけ子どもと分かち合わせてもらった感動も多かったのではないかと思います。そして私は最初にいただけで、今活動が素晴らしい発展しているのは同期や後輩の能力の賜物です、人と人との間で生み出されるものって予測がつかないので、一人で抱え込みます発信してみると本当に大切なんだなあと感じます。センスオブアースの仲間と話していると必ず自分の大切なものと新しい何かがみえてくる、私はそれが楽しくて本当に好きです。

SOE 日本女子大学 新井さとみ

寺田先生が中心となり歩んできたセンス・オブ・アースに、途中から参加させていただくようになった私ですが、環境教育部門で最優秀賞を取ったということで、私も表彰式に参加させていただきました。評価の1つとして継続性という項目がありました。センス・オブ・アースの人と一緒にいると何時も「この活動も集団もずっと続いているんだ」と強く感じます。それは寺田先生を始め、周囲の人もまたセンス・オブ・アースを始めた時と変わらない、強い信念と覚悟を持ち続けているからだと考えます。私としては今まで活動してきた環境学習が、やはり間違っていたと改めて感じることが出来ました。



SOE 柳栄吉

この度、板橋環境活動大賞、優秀賞をいたいたことは大変うれしく思うとともに今までの活動に対して責任の重大さを新たに感じています。本来人間が持っている、思いやりや共感・人生のゆとりといった心の豊かさを育む一つの方法として、小さいころから自然環境を体験することから始められると考えています。私たちセンスオブアースも、学年や年齢に応じて環境教育のプログラムを開発し、検証を重ねていくことによって、子どもたちに少しでも環境について理解し、生活改善への実践力をつけていきたいと願っています。これからもよろしくお願ひいたします。



SOE 北野翔平



今回受賞の対象となった、保育園・小学校・中学校向けの環境プログラム開発とその実践。自分はこの活動をひとつの「きっかけ作り」だと思い、進めてきました。木や虫や土に触る。食べ物の旬や産地を考える。授業をきっかけに、目の前のものの不思議さや当たり前のことへの疑問を感じてもらえる瞬間が一番大切な時間。不思議さに答えは無くても良いし、解決にはじっくり取り組めば良い… 誰にでもあるちょっとした時間。その時間に身近な自然に触れてみたり、目の前にある食べ物についてちょっと思いを巡らせてみたり。そんな時間の使い方の心地よさに触れてもらえる機会を目指して、これからも活動に関わっていけたらと思っています。



2月7日 志村坂下保育園 4歳児ぶどう組 雨のたからさがしおもしろいね

あいにく雨でした。が、朝から、園内でコウモリとガのゲームを行い、その後、いもむしの宝ぶくろの紙芝居を見てから、いもむし母さんのために、たからさがしへ近くの公園へ。カサをかぶり、長ぐつをはいて、ポッチャリ、ポッチャリとのんびり歩いていきました。雨粒のかかる葉っぱを見たり、新芽を探したり、木のにおいをかいだり、こけにさわったり、野鳥の声を聞いたり… 小雨の中、保護者のみなさんと、たからさがしカードを見ながら発見して歩きました。園に戻ってたからものの発表を出し合うと、スタッフには気付かなかった、小鳥の鳴き声や生きものがくくれている穴を見つけたり、4歳の子ども達のかわいい目や耳は、大活躍でした。その後ドングリコマ回し大会。「コマが楽しい!!」の声。保護者のみなさんも素晴らしかったです。スタッフには1歳のお子さんを連れて参加してくれた藤野さん親子も。雨の中の貴重な楽しい体験でしたよ。



2月9日 板橋第七小学校 5年生 食べ物はどこからを学んで—

S O E 環境教育出前授業報告

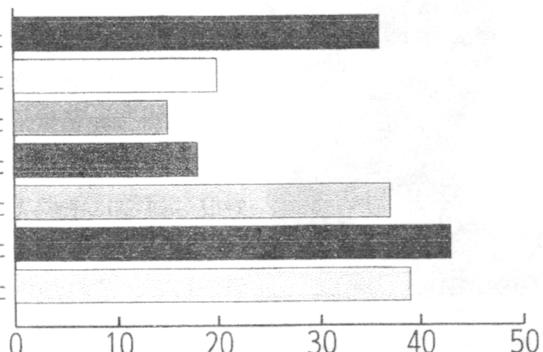
立春過ぎたとはいえば大変冷え込んだ日でしたが、板橋第七小の体育館は、暖房と熱気で温かく、藤森美恵先生・高橋健一先生が担任の5年生の子どもたちはとても活発に活動し、率直に自分の意見を発表しました。

《子どもたちの気づき よい環境意識が芽生えました。》

- 真だこがモーリタニアという知らない国で生産されていることが分かった。(M·R) ●いつも何気なく買っていたたべものもよい悪いがあることが分かりました。地球温暖化を防ぐことをこれからもやっていきたい。(T·K) ●身の回りにあるもので外国の物はフードマイレージと同じような仕組みなのかなと思いました。(T·K) ●世界のいろいろなところから食品が来て安いからいいなと思ったけど、それは地球には優しくないのだと思いました。(F·R) ●下級生や家の人が以外にも区のみなさんなどに「フードマイレージ」という言葉を知ってもらい、減らすために出来るだけ国産品を買うなどの活動をさらに活発化したいです。(H·U) ●どこかへ出かける時は徒歩・自転車を使う。とてもわかりやすい説明でよくわかった。(Y·A) ●これからはなるべく近くの産地のものを選ぼうと思う。(S·M) ●初めてわかったことがたくさんあった。詳しくわかった。すごく楽しかった。(S·T) ●お買い物ゲームが楽しくかつ勉強になりました。(F·N) ●フードマイレージを減らすためにもっと自分が出来ることをやっていきたい。(S·M) ●外国の輸入に頼るのはダメ。(K·R) ●日本の自給率について詳しくわかった。(K·T)

フードマイレージを学んで(44人中)

今日の授業は楽しかった



食べ物はどこからきているか知らないものがかなりあった

食べものが外国からきている物がこんな多いとは初めて知った

日本の食料自給率が先進国で一番低いことは知らなかった

フードマイレージという言葉を初めて知った

フードマイレージを減らすことが環境にも健康にも大切とわかった

友達とともに楽しく学べた

S·O·E 活動報告 1月

日曜 内容

- 8 日 NPO交流会子育て講座プログラム作り(～11日)
12 木 志村坂下保育園打合せ
17 火 蓮根保育園 4歳児いもむしのたからぶくろ
15 日 SOEニュース72号発行作業
19 木 区子育て講座 講師 仲宿地域センター
20 金 学校関係連絡調整
24 火 赤塚新町小5・6年 打合せ
26 木 蓮根保育園 3歳児 木の顔はどんな顔 他
28 土 区子育て講座 講師 仲宿地域センター
31 火 板七小 5年 打合せ

2月

日曜 内容

- 3 金 赤塚新町小 5年2クラス食べ物はどこから 実施
4 土 環境なんでも見本市出店エコポリスセンター(～5日)
7 火 志村坂下保育園 4歳児いもむしのたからぶくろ
9 木 板七小 5年2クラス食べ物はどこから実施
10 金 板二小5年研究授業講師 旬の野菜を調べよう
12 日 SOEニュース73号発行作業
13 月 赤塚新町小 6年2クラス ペットボトルの水実施
18 土 野鳥観察会 芝川遊水池 3者共催実施
19 日 板橋区環境活動大賞 環境教育部門優秀賞SOE受賞
24 金 徳丸小5年3クラス食べ物はどこから 実施
26 日 SOEワークショップ 講演会「放射線の話」聴講

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア